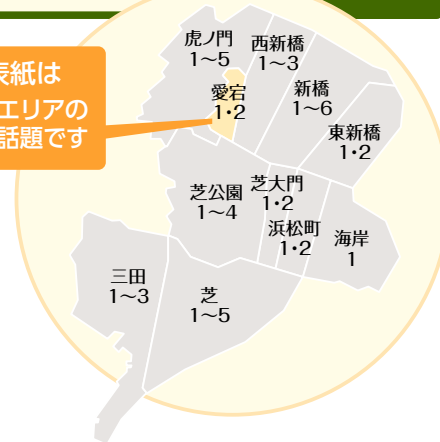


平成25年
2月20日発行

『芝地区地域情報誌』は、地域の皆さんとともに創る情報誌です。芝地区の「いい話」を紹介したり、様々な行事や活動の情報を交換したり、地域の皆さんと一緒に地域のことを考えていく場として、地域情報誌を発行しています。

芝地区今昔

第26号の表紙は
愛宕エリアの
話題です23区の最高峰
『愛宕山』からの眺望

標高約26mの愛宕山は23区内で最も高い自然の山です。江戸時代には遠く房総半島まで見渡せた展望の名所だったといえます。

この山頂へ至る男坂には「出世の石段」と呼ばれる急な石段があります。江戸幕府三代将軍徳川家光が山頂に咲く梅の花を馬で取りに行くよう家臣に命じたところ、ただ1人愛馬と共に石段を登り降りし見事に梅を持ち帰った曲垣平九郎が、その後、馬術の名人として家光にかわいがられて出世したという逸話に由来しているそうです。現在は86段の石段ですが、当時は丸い石を置いただけの階段が185段もあったようです。

明治初年の愛宕山上からの眺望
(写真提供：港郷土資料館)



出世の石段から見下ろすと、
愛宕山の標高を感じます



現在の愛宕山は
ビルに囲まれています

info



愛宕山(愛宕神社) 愛宕1-5-3
NHK放送博物館 愛宕2-1-1

芝・愛宕山の
四季おりおりを味わう。御料理
さいこん
菜根

歴史的にも有名な芝・愛宕山は、江戸時代から現在まで、多くの人々から親しまれ、参拝や散策と人気のスポットです。

今回は、寒さも吹き飛ばす勢いで、愛宕山の正面右側にある「女坂」の参道を登り、老舗の中国料理店「菜根」を目指します。

「女坂」といっても急な勾配からなる石段で、なかなかきついです、

途中、豊かな緑とほのかな紅葉に囲まれつつ、登りきると、とても清々しい気分になりました。

この女坂を登った先に、愛宕山の樹木の景観に溶け込んだ木造2階建の建物が見えてきます。まるで一枚の絵のようなたたずまい、昭和34年(1959)創業の中国料理店「菜根」です。

元々は戦後の昭和24年(1949)に、現在の虎ノ門1丁目あたりに本館を構えて営業を開始、後に別館として、こちらにある愛宕山の店舗がつくられました。

屋号の「菜根」は、中国の学者洪自誠の随筆集「菜根譚」からなるそうです。

軒先の赤いのれんをくぐり2階へと案内されると、数奇屋造を特徴とした客室「桜」「松」「梅」の3部屋



が広がります。お座敷は、大きなガラス窓から愛宕神社の境内を眺望することができる、くつろぎの空間です。八畳間、個室の「桜」の窓の外には、見事な枝ぶりの桜の木があります。菜根のご主人、新部一夫さんのお話では、「春のお花見の季節になると、桜の花で空が見えなくなるほどのピンクになります。」とのこと。やはり、シーズンの愛宕山は、大にぎわいだそうです。お座敷でゆっくりと過ごす、季節ごとの愛宕山の景色も味わい深いものになってくるのではないのでしょうか。

〔文・写真 ■ 桑原 庸嘉子〕



「桜」の間 窓に桜の木

壁に掛けてある額縁の写真。昭和34年 菜根(店前)にて。先代、大工棟梁、従業員と共に。当時のはっぴ姿が懐かしい



御料理 菜根
愛宕1-5-2
TEL 03-3437-3618

ばんねんざん せいしやうじ 萬年山 青松寺

—彫刻にみる仏たち—

青松寺は、文明8年(1476)に創建され、慶長5年(1600)に現在地に移った曹洞宗(禪宗)の名刹です。天保年間(1830-44)の「江戸名所図会」に、青松寺境内の鳥瞰図があり、伽藍後ろの愛宕山から続く眺望のよい山は含海山と呼ばれ、青松があり、平らな岩は高く分かれてつながり龍に似て、珠を抱いて眠りさらに穏やか、美しい雲が下の鐘堂にかかっていると詞書にあります。

平成13年(2001)に緑と地形を活用して青松寺の伽藍も再整備され、現在左と右の蓮の花に見立てた超高層タワーの間に山門があります。境内には、鐘楼、坐禅堂、中央に本堂、右側に観音聖堂、裏山にお墓、手前鐘楼の脇の道をたどって丘を登ると茶室智正庵があり、また境内のそこここに木彫やブロンズ造りなどの仏たちが安置されています。

山門では、持国天、広目天、増長天、多聞天の心強い造形の木彫の「四天王像」が迎え、山門の軒下には「隅龍」の彫刻、境内には蓮の台から飛び出した「誕生童子」とその周りを囲む象に乗った四体の「花祭りの童子」の像があります。また、覚醒して下界に降りた裏山の龍が、胴体を崖内に残したまま、黄金の珠を掴んで頭と尾で空を切り、その口より昔の門前にあった桜川を模した水の流れを噴き出す「龍の吐水口」、含海山に飛遊した誕生童子が人間界に干支を求めて回転させて遊ぶ「摩尼車」などがあります。これらは、彫刻家・藪内佐斗司氏の作品で、「藪内佐斗司の面構え良し」として先代住職が依頼したそうです。

藪内氏は、奈良や京都などにある仏像を中心にした彫刻文化財の保存修復や古典技法の研究を専攻され、平成16年(2004)から東京藝術大学大学院 文化財保存学教授として後進の指導にあたっています。また、仏像の古典技法研究を通して平安時代後期の仏師・定朝が集大成した「寄木造り」(頭体幹部を複数の角材で

組み立てる構造)や、仏像の各部を一定の率で割り出して必要な材木の寸法を決める「木割り」という製材法、さらに乾燥による割れの抑えや重量軽量化のために像の内部を空洞にする「内割り」などを学び、その他に仏像の表面仕上げの漆や岩絵具などの技法をも幅広く研究しています。

そして、その成果を応用して、現在、彫刻家として創作分野でも活躍しています。彫刻家・藪内氏は、「生命の器」としての鎧シリーズや、エネルギーの象徴としての童子たち、彼らが生命の時間と空間を超える連続性などをキーワードとして芸術作品を制作しています。創作の原点は、少年時代、「鉄腕アトム」の時空を超えた存在と広大無辺、縦横無尽の活動に魅了されたことにあるそうです。なお、平成遷都1300年記念事業の奈良県マスコットキャラクター「せんとかん」も同氏の作品です。日本古来の伝統技法を駆使しながら完成度の高い作品を創造し、いにしへの叡智を彫刻家として未来へとつないでいます。



崖を
足でける
龍



木彫の
持国天



巳の摩尼車



誕生童子・花祭りの童子と東京タワー



彫刻家・東京藝術大学大学院教授 藪内佐斗司氏

千年前の仏師が制作した仏像がわが国の大切な文化財であるように、現代彫刻家・藪内佐斗司の作品群も、私たちが身近に触れることのできる、未来に伝えるべき文化財といえるのではないのでしょうか。

青松寺には梵鐘が2つあります。今の鐘楼堂の鐘は昭和31年(1956)に鑄造されたもので、本堂脇の櫓につるされた鐘は元禄年間(1688-1704)に鑄造されたものです。元禄の鐘は第2次世界大戦中に国からの金属類供出令で供出され、すでにないものと思われていましたが、近年縁あって戻ってきたそうです。元禄と昭和の梵鐘は毎日朝と夕に交互に撞かれ、元禄の音色は今も当時のまま鳴り響いています。

(文 ■ 森 明 / 写真 ■ 早川 由紀)

- 取材協力:
青松寺
東京藝術大学大学院 文化財保存学 藪内佐斗司教授
青山美術株式会社
- 参考文献:
「萬年山 青松寺」パンフレット
「青松寺」ホームページ
藪内佐斗司著「開運 楽観道のすすめ」求龍堂 2002
藪内佐斗司講演「作品の源泉と技法」1999
在仏日本大使館 広報文化センター 記念講演会
藪内佐斗司著「日本木彫史概説」p189 年報2011
東京藝術大学保存修復彫刻研究室
「萬年山青松寺プロジェクト」ホームページ
市古夏生・鈴木健一校訂「新訂 江戸名所図会1」p264
筑摩書房 1990
「森ビル 建築から都市へ」新建築第87巻10号 p106 新建築社

info
萬年山 青松寺
愛宕2-4-7
TEL 03-3431-3087

虎ノ門1丁目に長年お住まいの 上野富美子さんに聞く

歴史と文化に包まれた虎ノ門地域。ここには、日本の歴史の舞台となった数々の場所があります。

江戸幕府260年を支えた「江戸城外堀の石垣」(千代田区霞が関3丁目)を始め、明治期の人材育成を果たした「工部大学校跡」(千代田区霞が関3丁目)、明治の暮らしを映す鏡として「読売新聞」を刊行した日就社(読売新聞の前身)があった「新聞創刊の地」(虎ノ門1丁目)等です。

この地に長年お住まいの上野富美子さんからお話を伺いました。

1 家業のこと

富美子さんのご実家は、戦前は旅館業を営んでいました。「高等旅館・朝陽館」という旅館名で、付近に国会議事堂や官庁があるため様々な人々が利用していたそうです。



写真には「東京市芝区琴平町二番地 高等旅館 朝陽館」と書かれています (関東大震災以前の写真)

お持ちくださったアルバムの中に、旅館を背景に「全日本都市対抗野球大会・東京野球倶楽部宿舎」という立て看板とともに人々を写した記念写真がありました。



昭和初期、社会人野球チーム「東京倶楽部」の宿舎にもなっていました

2 家族のこと

富美子さんは、日本の伝統芸能の「日本舞踊」の稽古を「6歳の6月6日」に始めたそうです。芸の上達を願って6歳の6月6日に稽古事を始めるという、日本の古くからの習慣に従ったんですね。お母様は「長唄」を習っており、共に日本の芸の道に進んだとのこと。お母様は、大正時代に愛宕山にあった東京放送局(現在のNHK)のスタジオで、長唄の演奏を行ったそうです。その様子を写した写真が、アルバムにありました。



東京放送局のスタジオにて。お母様は前列左から2番目の方です (大正時代)

懐かしい 虎ノ門地域

3 子どもの頃の遊び

虎ノ門地域は、遊ぶ場所には事欠きませんでした。日比谷公園や金刀比羅神社の境内、虎ノ門公園(通称三角公園/千代田区霞が関3丁目)等で遊んだそうです。この公園地域は、ブランコや滑り台・砂場等があり、友達と日が暮れるまで遊んだことが「昨日のこと」に感じられます」と富美子さんは話されました。

虎ノ門地域をこよなく愛し、長年にわたって住み続けている富美子さんは、ゆったりとした語り口で、言葉を選びながら丁寧に、お話をしてくださいました。虎ノ門地域の素晴らしさを改めて感じることができました。

(文 ■ 清田 和美)

モザンビーク共和国大使館

訪問記

平和を取り戻し、経済成長を続ける国

今回のモザンビーク共和国大使館訪問では、ベルミロ・ジョゼ・マラテ駐日大使にモザンビークの歴史や日本との交流についてお話ししていただきました。



とても紳士的な
ベルミロ・ジョゼ・マラテ駐日大使

モザンビークってどんな国？

モザンビーク共和国は、アフリカ大陸の南東、インド洋に面し、海を挟んだ向かい側にマダガスカル島があります。長い海岸線は全長2,700kmもあり、美しい海と豊富な海産物に恵まれ、近年、観光地としても注目されています。国立公園として保護された地域にはライオンやキリン、象といった野生動物が生息しています。



ヨーロッパからの観光客が多いビーチリゾート(モザンビーク共和国大使館)

歴史をさかのぼると、1世紀頃にはバントゥー系アフリカ人(現在でもモザンビーク人の多くを占める)がモザンビークの地で生活をはじめていました。その後ポルトガル領となり、400年近い植民地支配の後1975年(昭和50)に独立し、16年間の内戦を経て1992年(平成4)に平和を取り戻すと、経済的に大きな発展をとげるようになりました。

どんな民族と文化なの？

「モザンビーク人は明るく、ダンスが好きで、昔からの知り合いのように親しみやすい国民性です」と大使はおっしゃっていました。いくつかの民族があり、言語も公用語はポルトガル語です



自然史博物館(モザンビーク共和国大使館)

伝統楽器ディンビラはオーケストラのような演奏が魅力(えひめグローバルネットワーク)



弁天洞入り口

が、マクアやツォンガなどのバントゥー諸語などが使われ、それぞれの民族の文化や言語が継承されています。

歴史的な建造物も多く、16世紀に建てられたモザンビーク島のノサ・セニョラ・デ・パルアルテ礼拝堂は南半球に現存する最古のヨーロッパ建築として知られています。またモザンビーク島は世界遺産に指定されており、本土から3kmもある橋がかけられています。

日本からは1586年(天正14)にローマ教皇に謁見するために派遣された天正遣欧少年使節一行がヨーロッパから船で日本に戻る際、悪天候のため一時モザンビーク島に滞在していた記録が残っています。

平和を望みつづけた末に

1975年にポルトガルから独立したとき、大使は18歳でした。人々は「自分たちの国をつくる、差別のない世の中をつくること」を目指し努力しました。

しかし、独立後すぐに内戦に突入してしまいました。大使も父親が仕事をしていたシクラクラという町で空爆にあい、急いで首都マプトに逃げたそうです。道路や畑などあらゆる物が破壊され、何も生産できない貧困の中で「平和を取り戻すんだ」と願い続け、やっとそれが実現しました。その教訓からモザンビークでは教育に力を入れ「平和を守る戦い」はつづいていると子どもたちに教えているそうです。

イベントのお知らせ

① 第6回 アフリカンフェスティバルよこはま2013

日時 4月5日(金)～7日(日) 午前11時～午後7時(最終日は午後5時まで)
会場 横浜赤レンガ倉庫1号館(神奈川県横浜市中区新港1-1-1)
主催 アフリカンフェスティバルよこはま実行委員会

② チャリティー・ディナー・ダンス

日時 4月19日(金)〈受付〉午後6時/開宴 午後7時～10時
会場 ホテル椿山荘東京(文京区関口2-10-8)
主催 駐日アフリカ大使夫人の会

※チケット制です。収益金は東日本大震災の被災地のために活動するNPO、アフリカの恵まない子どもたちのために活動する慈善団体に寄付します。

①、②とも詳しくはモザンビーク共和国大使館にお問い合わせください。

日本との関わり

エビやアルミニウム合金、石炭などを日本に輸出しているほか、最近では液化天然ガス(LNG)の開発事業に日本の企業も参加しています。東日本大震災後、「エネルギーの安定供給」は、私たち日本人にとって大きな課題です。モザンビークには世界最大規模のガス田が発見され、その開発が進行中です。

実際の供給は2018年(平成30)以降になります。モザンビークと日本の関係は、エネルギー供給面でも強く結ばれることでしょう。

(文 ■ 作田 宗子)

大使から芝地区へのメッセージ

「私は駐日大使に任命されたことをとても誇りに思っています。日本や特に芝地区の皆さんにはホスピタリティを持って受け入れていただき、感謝しています。モザンビークと日本の関係がさらに友好に発展していくには、人と人との草の根の交流を通してお互いが理解しあうことが大切です。モザンビークのことをもっと日本の皆さんに知っていただきたいと思います。」

info モザンビーク共和国大使館
三田3-12-17 芝第三アレックスビル6F
TEL 03-5419-0973
●e-mail: moz.tokyo@embamoc.jp

オランダ王国大使公邸

訪問記

特別一般公開日がある大使公邸をご存じですか？



オランダ王国大使公邸外観(現在)

地下鉄日比谷線神谷町駅付近のビジネス街から東京タワー方向に通りを入ると、雰囲気が一変。緑に囲まれた広大な敷地の中に、オランダ王国大使公邸があります。オランダ王国大使館 報道・文化部 報道・文化補佐官のバス・ヴァルクスさんに、大使公邸を案内していただきました。

今回案内していただいた
バス・ヴァルクス報道・文化補佐官

芝公園の地に130年

オランダ大使館／大使公邸は、安政6年(1859)に芝の西應寺を公使館として開設されました。その後、明治16年(1883)に日本政府から借地して、現在地の芝公園3丁目へ移転しました。

当時の建物は木造だったため、大正12年(1923)の関東大震災で焼失してしまいましたが、昭和3年(1928)に再建。ジェームズ・M・ガーディナーの設計による、鉄筋コンクリートと銅板葺きの屋根の重厚な建物は、太平洋戦争時の空襲でも焼失を逃れることができた。

建築されてから85年がたちましたが、東日本大震災後に建物を検査したところ、ヒビひとつなく無事だったとのこと。本当に驚きの堅牢さですね。

左右対称、調和の取れた美しい建物

大使公邸は、庭園に面して建ており、正面玄関から入ると手前左手にレセプションルーム、右手に書斎があり、出窓が左右対称に配されているのが特徴です。



昭和3年、再建当時の写真(左:庭側から公邸を望む/右:ダイニング)
(清水建設株式会社所蔵の写真より)

中の部屋も、ダイニングルームなどが左右対称なことに気づきます。どの部屋も大きな窓から陽が降り注いで、規則性を保ちながらも優雅な雰囲気です。美しいシャンデリアや、階段の踊り場にあるステンドグラス、2階のバルコニーからの庭園の眺めも印象的でした。

年に2回、春と秋に見学ができます

オランダに興味と親しみを持ってもらえるようにと見学者に開放したのが一般公開の始まりで、今春は4月12日(金)・13日(土)に、秋は11月3日の文化の日(日)に庭園と建物の外観を無料で見学できます。春は庭園に咲き誇るチューリップも見どころのひとつです(※参照)。

「最初は緊張した面持ちの見学者の皆さんが、帰る時は楽しそうな顔になっているのを見ると、とてもうれしいです」と、ヴァルクスさん。大使公邸を一般向けに公開している国には他にないそうで、新しい開かれた試みですね。

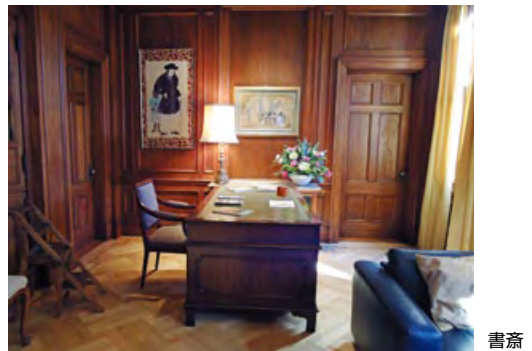
※4月・庭園のみ公開。11月:大使公邸内に主に公開。庭園も見学できます。

両国の友好をさらに深めるために

日本とオランダの通商関係は400年以上続いており、古くからの友好的な関係は、多くの人の知るところです。日蘭の交流の証は全国各地に残されていて、その史跡や施設を紹介するWebサイト、「日蘭友好スポットガイド(<http://www.nihonoranda.com>)」が昨年9月に開設



白色を基調としたサロン



書斎

されました。写真や解説を楽しみながら、日本とオランダにゆかりのある場所を知ることができます。

また今年、本国では、オランダ出身の画家ゴッホ生誕160周年とゴッホ美術館創設40周年にあたるほか、アムステルダム国立美術館が改修を経て新しくオープンするなど、「アムステルダム2013」と呼ばれる周年行事やその他様々なイベントが予定されています。産業だけでなく、文化・芸術面でも魅力あふれる国ですね。

そんなオランダ王国の大使公邸へ、この春出掛けてみませんか。1万本の満開のチューリップが、出迎えてくれることでしょう。(文 ■ 藤原 敦子)

info オランダ王国大使公邸
芝公園3-6-3
TEL 03-5776-5400

江戸時代の空気をを感じる…〈松蓮社の弁天洞〉



弁天洞入り口

松蓮社は、江戸時代に51寺院あったと言われる、浄土宗大本山増上寺の子院のひとつです。江戸幕府三代将軍徳川家光(1604-1651)の長女で、元禄11年(1698)に死去した千代姫(1637-1698)の位牌殿として、尾張徳川家により同年建立されたと伝えられています。

松蓮社の弁天洞は、敷地内西側の崖地の下部にあります。この洞穴は松蓮社の建立の頃から存在したと伝えられています。一般公開日は、毎月1日・17日。見学をする際には、東京メトロ神谷町駅に向かう通りに面した入り口から入ります。

洞の入り口は高さ1.4mほど。崖地の上には港区の保護樹林が広がっていますが、さらに見上げると、周辺には近代的なオフィスビルが数多くあります。都会の建築物と江戸時代の洞穴。とても不思議なコラボレーションです。

洞内には懐中電灯を持って入ります(懐中電灯は見学者のために弁天洞の入り口に用意されています)。中は意外に暖かく、湿気があります。洞内は高さ1.7m前後、幅は1.0m前後。入り口から2mほど入ったところに、石造りで半浮き彫りの地藏菩薩立像が安置されています。洞穴はそこですぐに左に曲



がります。そこから先は真暗です。通りを行き交う自動車のエンジン音すら聞こえなくなり、まるで別世界に入り込んだかのようです。前に進むには、洞穴の壁に等間隔に配置されたろうソクの灯りと懐中電灯の光が頼りです。

洞内を進みながら天井や壁を照らしてみると、おそろしく手彫りによるものと思われる、ノミの跡が見られます。また、ところどころに文字も確認できます。さらに洞内を蛇行しながら進んで行くと、2カ所の側道がありました。この側道は現在は塞がれており、安全管理のために通行禁止となっていますが、太平洋戦争当時、弁天洞が防空壕として利用されていたときに、抜け道として掘られたものです。

そして、洞穴のいちばん奥には石の祠があり、その中に弁才天像が安置されています。弁才天像は、石造り

の半浮き彫りで八臂(8本の腕を持つ)の座像です。それぞれの手には竊索(投げ縄)、長杵、輪宝のほかに、弓、箭(矢)、斧、刀、戟(矛)等の武器を持ち、やや面長のすっきりとした顔立ちをしています。

また石の祠の右側面に銘文が刻まれており、正確な意味は明らかにされていませんが、この祠が造立された時代を示すものと言われています。

松蓮社の住職である樹下隆之助さんのお話によると、弁天洞や地藏菩薩立像、弁才天座像について、年代を決定できる資料はなく、詳しい調査等も行っていないため、正確な制作時期はわからないとのことでした。

多くの謎に包まれた松蓮社の弁天洞。江戸時代の空気を感じながら、さまざまな想像力がかき立てられます。

(文・写真 ■ 菊池 弓可)



洞内の壁に見られる文字の一部

●参考文献:『港区の文化財 第3集 増上寺とその周辺』
港区教育委員会編

info 松蓮社
芝公園3-1-6
TEL 03-3431-0474

新橋で瀬戸内を体感しよう♪

香川・愛媛 せとうち旬彩館

港区には全国各県の物産館やアンテナショップが多々ありますが、新橋2丁目には、香川県と愛媛県が、首都圏における両県の特産品の販売やせとうち郷土料理の提供及び観光情報発信の拠点として開設した、全国で初めての二県共同によるアンテナショップ「香川・愛媛せとうち旬彩館」があります。

1階は、両県ならではの食品、農産物、伝統工芸品を販売する特産品ショップ及び旬の食品の実演販売などを行うイベントコーナーがあり、2階は、両県の郷土料理や食材を活かした料理を提供するレストラン「かおりひめ(香媛)」と観光情報をリアルタイムにお届けする観光交流コーナーがあります。

「香川・愛媛せとうち旬彩館」での観光物産情報発信について、香川県東京事務所産業振興部東京観光物産センター 溝沢祥明所長にお話を伺いました。

「平成15年(2003)3月にオープンして今年で10年、ショップとレストランの利用者は1日約

1,000人になりました。新橋という場所は、観光物産情報を発信するアンテナショップにふさわしい場所と考えております」

「約1,600種類の品ぞろえがあるショップでは、香川のうどんや愛媛の柑橘類をはじめとして、ちりめんじゃこ、香川では天ぷらと呼ばれる白身魚の練り物等の海産加工品、小豆島のオリーブ製品や醤油、和三盆という砂糖を使用したスイーツ、愛媛県ではタルトと呼ばれるロールケーキのような郷土菓子、今治タオルや工芸品等両県の誇る特

産品、また、『ゆるキャラグランプリ2012』で第1位となったパリエさんグッズもあります」

「レストランでは、昼は讃岐うどん、鯛めしや刺身定食などのランチメニュー、夜は郷土の一品料理やコース料



「ゆるキャラグランプリ2012」で第1位になった愛媛県今治市の「パリエさん」

理と地酒を提供していますので、両県の食文化を堪能できます」

「観光交流コーナーでは、両県の観光相談も可能ですので、お気軽にご相談ください。ぜひ香川県・愛媛県を訪ねていただきたいです」とのことでした。

皆さんも新橋で本物の瀬戸内を体感できる「香川・愛媛せとうち旬彩館」へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

〔文 ■ 日沖 剛〕



香川・愛媛せとうち旬彩館
新橋2-19-10 新橋マリンビル1・2F
●特産品ショップ TEL 03-3574-7792
●かおりひめ TEL 03-5537-2684
●観光交流コーナー TEL 03-3574-2028



“旧町名
由来板”を
ご存じですか？

大正10年(1921)発行の「東京市芝区図」(東京通信局発行)を参照すると、芝地区には、当時74の町名がありました。その後、住居表示実施等による町名変更があり、現在使われている町名になりました。74の旧町名のうち、現在71の町名の由来を記した旧町名由来板を芝地区内19か所に設置しています。

今回は「金杉橋児童遊園」(芝地区MAP 15)に設置されている旧町名由来板から、4つの旧町名を紹介します。

【金杉】

むかしは荏原郡の内にあって、金州崎、金曾木または金杉と呼び、漁夫が住む村でした。しだいに商家が増加して金杉町となり、寛文2年(1662)には町奉行支配となって、金杉通1丁目~4丁目、金杉裏1丁目~5丁目、金杉片町、金杉浜町など、11ヶ町に分けました。町名の由来について、暗夜に金色の光を発して沖合より目印になった杉のような大木があった、あるいは海辺の州崎であることから金州崎といい金杉に転じた、と伝えられていますが、いずれが正しいかあきらかではありません。

【金杉川口町】

むかしは荏原郡の内にあって、金州崎、金曾木または金杉と呼び、漁夫が住む村でした。その後、金杉町の一部となり、寛文2年に町奉行支配となった際、金杉裏1、2丁目として割り当てられた地域です。明治2年(1869)、各々その一部が合併して金杉川口町となりました。町名は金杉川(古川;新堀川の下流)が内海に注ぐ河口にあったことに由来します。

【金杉浜町】

明治2年、金杉裏4、5丁目の大部分および西應寺町の一部分を併せて金杉浜町となりました。金杉裏4、5丁目は、むかしは荏原郡の内にあって、金州崎、金曾木または金杉と呼んだ漁夫が住む村であり、寛文2年に町奉行支配となった際、割り当てられた地域です。町名の由来について一説には、海浜にあったことから浜町と唱えるようになったといえます。明治4年(1871)までには芝金杉仲町を併せました。

【金杉河岸】

金杉河岸は金杉橋と将監橋の間の河岸地に位置します。むかしは、金杉通1丁目に含まれましたが、寛文7年(1667)、御用地に召し上げられ、しばらく空き地となっていました。天和4年(1684)よりしだいに幕府御坊主の拝領地となり、金杉同朋町と称するに至りました(当時、幕府御坊主を同朋と称した)。明治2年、官収して金杉河岸と改称しました。



今回紹介した旧町名由来板が設置されている
金杉橋児童遊園
芝1-1-2

芝地区MAP

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめました。ウォーキングマップとしてご活用ください。



1 愛宕山(愛宕神社) 1P
2 NHK放送博物館 1P
3 中国料理 菜根 1P
4 萬年山 青松寺 2P
5 新聞創刊の地 6P
6 モザンビーク共和国大使館 4P
7 松通社 4-5P
8 オランダ王国大使館 6P
9 香川・愛媛せとうち旬彩館 6P
10 芝の地域力再発見事業拠点「芝の家」 6-7P
11 戸板女子短期大学 7P



しばのいえ
「芝の家」
から...

特技を地域に役立てる

日々、芝の家に集まってくる方々とお話をしていると、世の中には何か特技を持っていて、その特技を地域に役立てたい、地域の人を楽しませたいと思っている人が少なくないと感じます。芝の家が、そうした人たちと、その力を必要としている人たちとの出会いをコーディネートすることができればと思っています。

音楽教室の先生によるクリスマスコンサートを開催

昨年12月、ご近所の音楽教室の先生の協力のもと、クリスマスコンサートを開きました。

音楽教室は夏にオープンしたばかりで、若い音楽家たちが講師としてがんばっているという印象でした。その教室の先生の一人でピアノや編曲を教えているKさんは、港区に住み、三田高校の出身、芝に愛着があり、何か役に立てることがあればやってみたいと話してくれました。相談の結果、今回のクリスマスコンサートを開催することが決ま

りました。

Kさんと彼の音楽仲間による演奏の合間には、有志によるフラダンスや合唱などがあり、大いに盛り上がりました。また、お菓子のプレゼント、ポップコーン作りの名人も登場して、美味しいキャラメルポップコーンも振る舞われました。一人ひとりがきらりと光る瞬間を感じ取れました。

コンサートを盛り上げてくれたKさんも有志の皆さんも、参加者の笑顔を見てとても満足そうでした。人に喜んでも



られることは、めぐりめぐって、自分の喜びや幸せにつながるのですね。

また、コンサートに参加した人は、次にKさんとまちなかで会ったとき、きっと挨拶を交わさると思います。新しくまちなきた人と、もともと住んでいる人をつなぐことができるのも、芝の家の意義ではないかと思いました。

今後も地域の人々がまちで活躍できるようネットワークを広げていきます。どうぞお楽しみに!

ご夫婦の協力で「動画編集講座」も開催

芝2丁目在住のご夫婦が動画の編集を教えてくださいます。スマートフォンの普及もあり、誰でも気軽に動画撮影ができるようになりました。撮った動画をつなぎ合わせて何度も見返したくなるような動画をつくってみませんか。芝の家周辺を紹介する動画を作成しながら楽しく学びます。



芝の地域力再発見事業拠点「芝の家」
芝3-26-10 TEL 03-3453-0474
●月・火・木曜 午前11時~午後4時開室
水・金・土曜 午後1時~6時開室
●ホームページ <http://www.shibanoie.net/>



「ご近所イノベータ養成講座」

3月21日(木)募集開始予定、6月1日(土)開講

ご近所イノベータとは？

自分の想いを実現しながら、地域生活に豊かさと幸せを生み出す次世代のまちの担い手。まちに暮らすひとりの人間として主体的な活動を起こし、地域のネットワークづくりや創造的課題解決の風土を育む、地域の〈人財〉です。

どんな講座？

講義とワークショップのほか、プロジェクトの実践や「芝の家」でのコミュニティ体験を通して「自分のやりたいことをまちにつなげる」技法を学ぶ、少人数制の実践型講座です。

開講スケジュール(予定)

講義とワークショップ

- 6月 1日(土)・2日(日)・15日(土)・29日(土)
- 7月 13日(土)・27日(土)
- 8月 3日(土)・4日(日)・24日(土)
- 9月 28日(土)
- 10月 5日(土)

そのほか、「芝の家」体験、プロジェクト実践も行います



会 場

芝コミュニティはうす、芝の家、慶應義塾大学三田キャンパスなど

説明会開催

- とき 2月27日(水) 午前10時30分～11時30分、午後7時～8時
- ところ 芝の家(芝3-26-10)

※講座・説明会について詳しくは、港区ホームページまたは、ご近所イノベータホームページ(<http://www.gokinjo-i.jp>)をご覧ください。

- 問い合わせ先 芝地区総合支所協働推進課地区政策担当
TEL 03-3578-3192 FAX 03-3578-3180

環状第二号線(新橋～虎ノ門) 地上部道路の愛称名を募集します



- 応募資格 …… どなたでも応募できます。(複数案の応募も可能です。)
- 募集期間 …… 3月8日(金)まで(当日消印有効)
- 応募方法 …… 愛称名案、理由、応募者の住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入のうえ、下記①、②いずれかの宛先に郵送または送信してください。
※抽選で記念品を贈呈するとともに、現場見学ツアーにご招待します。

- ①はがき …………… 〒105-0001 港区虎ノ門1-22-16 2階 環二地区事務所 気付「環二愛称名応募係」宛
- ②インターネット …… 愛称名募集について(<https://kanni-aisho.jp>)からご応募ください。



愛称名を募集する区間(約1.35km)



※詳しくはお問い合わせください。

- 問い合わせ先 (環状第二号線新橋・虎ノ門地区再開発事業施行者)
東京都都市整備局市街地整備部再開発課 TEL 03-5320-5464

平成25年度 港区民交通傷害保険に加入しましょう

港区民交通傷害保険は、少額の保険料で加入でき、交通事故でケガをしたときに、入院や通院治療日数と通院治療期間に応じて保険金をお支払いする保険制度です。

また、港区民交通傷害保険に、「自転車賠償責任プラン」を併せたコースも募集します。自転車運転中に相手にケガをさせてしまった場合等が対象となります。概要のご案内となりますので、詳しくは各総合支所で配布するパンフレットまたは区のホームページをご覧ください。

※自転車賠償責任プランのみで加入することはできません。

加入対象者

平成25年4月1日午前0時時点で港区に住所がある人

保険期間

平成25年4月1日午前0時から平成26年3月31日午後12時までの1年間

加入方法

◎個人で加入される場合

各総合支所協働推進課協働推進係または区内金融機関(銀行、信用金庫、信用組合、ゆうちょ銀行・郵便局)で配布する加入申込書に記入のうえ、保険料を添えてお申し込みください。

◎10人以上の団体で加入される場合

各総合支所協働推進課協働推進係で、団体加入申込書に記入のうえ、人数分の保険料を添えてお申し込みください。

加入申込期間

2月1日(金)～3月29日(金)

※金融機関での申し込みは3月22日(金)までです。
※申込期間外の加入はできませんのでご注意ください。

コースの種類と保険料

表の6つのコースから1つのコースを選んでご加入ください。

※複数のコースへの加入はできません。

コース	補償内容	年額保険料	最高保険金額
A	区民交通傷害Aコース	800円	150万円
B	区民交通傷害Bコース	1,400円	350万円
C	区民交通傷害Cコース	2,600円	600万円
AJ	区民交通傷害Aコース+自転車賠償責任プラン	1,100円	150万円(交通傷害)+1,000万円(自転車賠償)
BJ	区民交通傷害Bコース+自転車賠償責任プラン	1,700円	350万円(交通傷害)+1,000万円(自転車賠償)
CJ	区民交通傷害Cコース+自転車賠償責任プラン	2,900円	600万円(交通傷害)+1,000万円(自転車賠償)

(SJ12-08368、平成24年11月19日作成)

都税についてのお知らせ

平成25年度定期課税分

自動車税の障害者減免申請の受付を行っています

身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳等をお持ちの方で、一定の要件を満たす場合、自動車税・自動車取得税の減免を受けられる制度があります。現在、新たに身体障害者手帳等を取得された方、減免申請がお済みでない方を対象として、平成25年5月末まで、平成25年度分の減免申請を受け付けています。対象の方は、下記までお問い合わせください。4月、5月は窓口が混み合います。お早めの申請をお願いします。

＜ご注意＞

- ・4月1日以降に自動車を新規に取得し、当年度の課税がある場合の申請期間は、従来どおり登録の日から1ヶ月以内です。申請期限を過ぎると、当年度の減免を受けられません。
- ・減免額には上限が設定されています。

● 問い合わせ先 ●

都税総合事務センター自動車税課調査係
TEL 0570-064-171
(IP電話・PHSをご利用の場合 TEL 03-5985-7814)

主税局イメージキャラクター
タックス・タクちゃん



芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1～3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設等で配布しています。

★本誌の制作には以下の編集委員が参加しています。
天津由理香／菊池弓可／清田和美／桑原庸嘉子／坂本紘一／作田宗子／柴崎郁子／柴崎賢一／千葉みな子／張簡光輝／早川由紀／日尾佳世／日沖剛／藤原敦子／町田明夫／森明 (五十音順 敬称略)

★今後の発行スケジュール(予定)は次の通りです。
H25.6.1発行(第27号)、H25.9.1発行(第28号)、H25.12.1発行(第29号)、H26.3.1発行(第30号)

芝地区地域情報誌・編集委員を募集しています！



芝地区の話題を発掘し、取材していただく地域情報誌・編集委員(記者)を募集します

- 対 象 芝地区管内に在住、在勤、在学で取材に携わりたい人
- 内 容 地域の話題の収集、取材、写真撮影、原稿作成など(年間4回発行予定)。発行予定ごとに平日の昼夜間に2時間程度の取材と、平日夜間に2回程度編集会議への参加があります。
- 申し込み 氏名、住所(在勤、在学の方は所在地)、連絡先、在住・在勤・在学の区別を明記の上、下記の芝地区総合支所協働推進課まで、FAXまたは郵送でお申し込みください。
- その他 報酬、交通費等の支給はありません。

港区芝地区総合支所協働推進課

所在地：〒105-8511 港区芝公園1丁目5番25号(港区役所2階)
TEL：03-3578-3193 FAX：03-3578-3180
ホームページ：<http://www.city.minato.tokyo.jp/>